

サマー・サイエンスキャンプ 2006

平成 18 年 8 月 2 日(水)から 4 日(金)の 3 日間サマー・サイエンスキャンプ 2006、「テーマ「動物を衛る ヒトを衛る」」が当所(つくば)において開催されました。

同キャンプは、主催:独立行政法人科学技術振興機構、共催:受入機関、実施運営機関:財団法人日本科学技術振興財団で、サイエンスキャンプ 2006(サマー、ウインター、スプリングの 3 回実施)の一つとして開催されているものです。

同キャンプの目的は、「次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置がある研究現場等で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性、知的探究心を育てること」(独立行政法人科学技術振興機構 平成 18 年度事業概要より)となっています。

サマー・サイエンスキャンプ 2006 は、足利工業大学をはじめ 23 機関、開催場所 33 会場で行われ、当所においては第一希望応募者 55 名の中から 8 名の高校生を選抜して行いました。

カリキュラムは、次のとおりでした。

第 1 日目(8 月 2 日(水))

- ・開講式/オリエンテーション
- ・サルモネラの検査

第 2 日目(8 月 3 日(木))

- ・牛における臨床検査の基礎・動物の血液生化学検査、中毒の原因となる毒物の簡易検査(午前)
- ・サルモネラの検査結果
- ・牛における臨床検査の基礎・動物の血液生化学検査、中毒の原因となる毒物の簡易検査(午後)

第 3 日目(8 月 4 日(金))

2 コースより 1 コース選択(a、b コース各 4 名)

- ・a コース 4 名
マウスの解剖、ELISA による血清診断法
- ・b コース 4 名
顕微鏡および電子顕微鏡でウイルスを観察
- ・まとめ/閉講式

当所に応募した多くの方は、動物が好き、動物のお医者さんになりたい、動物を助ける仕事に就きたいという

動機であり選考には苦労しましたが、参加者の皆さんに様々な診断や検査方法を実際に体験していただけたと思います。

参加した皆さんは、各講義や実習を熱心に受けられ、特に驚いたのは牛における臨床検査の基礎の中で、初めて牛にさわる参加者の方もいたのですが物怖じすることなく牛に接していたことです。

すべてのカリキュラムが終了したあと参加者から、この 3 日間で高校生活ではできない貴重な経験ができ、「楽しかった・将来のための参考になった」等々の感想をいただきました。

高校生の皆さんにとっては驚いた、厳しかった、そして楽しかった 3 日間だったようです。

(広報委員会事務局:情報広報課)

